



特定医療法人社団

# 鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス  
<http://www.goodream.co.jp/hoyukai/>

第37号

発行:2009年5月15日

発行責任者:  
特定医療法人社団 鵬友会  
事務局長 池島 守



## 病院機能評価を受けるに当たって

横浜ほうゆう病院 院長 小阪 憲司

私が横浜ほうゆう病院の院長を引き受けてから間もなく2年が過ぎようとしている。その間、いくつかのテーマを提案してきた。

例えば院長就任時に、

- 1) 病院名の変更(「ほうゆう病院」から「横浜ほうゆう病院」に)
- 2) 「認知症専門病院」であることの宣伝
- 3) 外来の充実
- 4) 臨床心理士(当面は非常勤)の導入
- 5) 臨床治験や臨床調査・研究への積極的参加
- 6) 病院年報の作成
- 7) 機能別の病棟再編
- 8) チーム医療の充実
- 9) 地域連携の強化
- 10) 病院機能評価の受け入れなどである。

これらのうち着実に実施されているものとして1~7)を挙げることができる。8~10)は現在進行中である。このうち、病院機能評価の件は特に、大切であり、今年から実際に準備が始まったので、これについて現状を紹介する。

湘南泉病院が機能評価を受け、昨年4月に承認されたので、当院でも湘南泉病院に習って準備を進めているところである。私が横浜市大センター病院の副院長の時に、また新橋副看護部長が横浜市大病院の看護部長の時に機能評価を受けたことがあり、その大変さは実感しているが、詳しいことは忘れてしまって改めて勉強を始めたところである。精神科病院で機能評価を受けた病院はまだ少なく、まして当院のような認知症専門の精神科病院では初めてではないかと思う。したがって、

審査する側も初めての経験ではないかと思われるので、手探りのなところもあると思う。また、昨年からバージョン6に変更されているので、新たな取り組みも必要になるであろう。

今春当院に赴任していただいた奥田事務次長が実施責任者で、彼の号令のもとプロジェクト委員会、第一から第七領域の各委員会が発足し、それぞれの責任者、副責任者、メンバーが発表され、全病院職員が一丸となって活動を開始したところである。

少し始めてみてすぐ実感することは、実際にはしていても文章化されていないことがいかに多いかということであり、その不備を少しずつ整備していく作業が始まりつつある。病院職員全員がチームを作り協調していかないと成功しないので、そういう意味でも機能評価を受けることに大きな意味があると思う。当院では、各病棟でチーム医療を実践しており、いろいろの職種の人たちがそれぞれの専門性を活かして物事に対処するということには慣れていると思うが、今回の機能評価制の導入によりまさに各職員のチームワークの腕前を發揮できる良い機会であると思う。

まだスタートしたばかりで、これからいろいろな作業を進めなければならない状況であるが、病院機能評価に合格すれば、まさに私が目指している日本一の認知症専門の精神科病院が実現されるものと期待をしているところである。

鵬友会のみなさまにはぜひともご協力をお願いします。

今回、家族満足度調査を行ない、結果の一部について報告させていただきます。

本来、満足度調査の対象は、入院されている患者様を対象に行われるものでありますが、当院に入院されている患者様の特性上、ご意見はなかなか頂けないと考え、保護者の方よりご意見をいただく形となりました。

期間は平成20年12月1日にアンケート用紙を配布・郵送・回収させて頂きました。

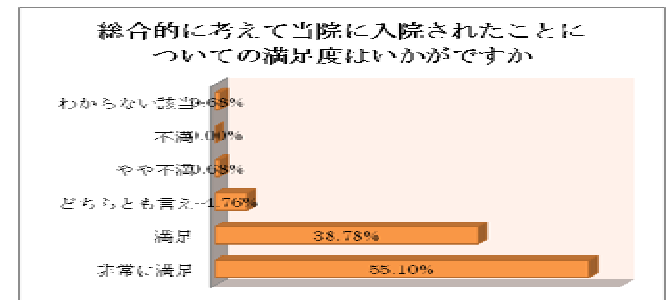
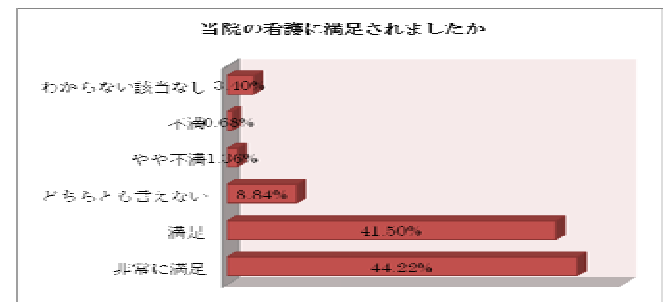
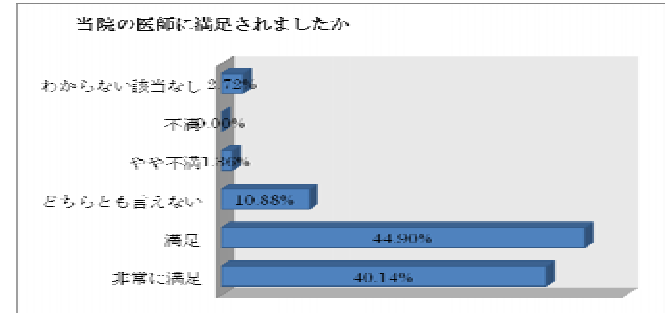
対象：200名 回収147通（回収率73.5%）でした。意見を聴かせていただいた項目は、医師、看護師、助手などの他の職員について、食事、施設、その他について意見を頂きました。いずれの回答も70から80%の方が、非常に満足または満足と回答されていました。また、最後に総合的な満足度についても意見を頂きました。

グラフをみていただければわかるとおり、半数以上の方が非常に満足と回答されていました。また自由記述の欄を設け、具体的にご意見を伺いました。感謝の言葉をたくさんいただきました。更にサービスの不足に関する事、病院の立地条件に関する事、支払いなどのシステムに関する事などなど、たくさんの意見をいただくことができました。

今年度は、機能評価受審のための準備の年でもあります。ここで頂いた意見を、今後に活かして

いきたいと考えます。さらに2回目、3回目の調査も行っていきたいと考えています。

ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。  
文責：村山



## 第10回 市民向け医療・福祉講座 開催のお知らせ

テーマ：「高齢者の栄養を考える」

～栄養サポート外来の活動を通して～

講師：湘南泉病院 副院長 末盛 彰一  
医師 塩谷 淳

実践報告：病棟看護師、管理栄養士、言語聴覚士の  
各立場から

日時：平成21年7月18日（土）14：00～16：30

場所：湘南泉病院 4階会議室 \*参加費 無料

お申込み・お問合せ先

\*お電話の場合 担当：上村 045-810-0331

\*FAXの場合 045-810-0371

国家試験合格！

介護福祉士



横浜ほうゆう病院

磯 友香

新たなスタートだと思い、気持ちを入れかえて頑張っていきたいと思ひます。